

講義科目2-4

家禽疾病学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

家禽産業および家禽の飼養衛生管理を理解したうえで、個々の家禽疾病の原因、症状、診断および予防に関する知識を修得し、家禽産業あるいは関連分野に応用できる能力を身につける。

(1) 養鶏産業および鶏の飼養衛生管理

一般目標：

養鶏産業および鶏の飼養衛生管理についての基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) 鶏の祖先、由来を説明できる。
- △2) 鶏の品種・銘柄を説明できる。
- △3) 養鶏産業（種鶏飼養、孵卵・孵化、雛の導入、育成、出荷、処理工程まで）の概略を説明できる。
- △4) 鶏の飼養衛生管理の概略を説明できる。

(2) 鶏のウイルス感染症とその予防

一般目標：

鶏のウイルス感染症の病原体、症状、診断法、予防に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) 鳥インフルエンザの病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 2) ニューカッスル病の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 3) ウエストナイルウイルス感染症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 4) 伝染性気管支炎の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 5) 伝染性喉頭気管炎の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 6) 鶏痘の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。

- 7) マレック病の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 8) 白血病の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 9) 伝染性ファブリキウス嚢病の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 10) 鶏貧血ウイルス感染症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 11) 鶏脳脊髄炎の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 12) 産卵低下症候群の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 13) ウイルス性腱鞘炎・関節炎の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 14) ニューモウイルス感染症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。

(3) 鶏の細菌感染症とその予防

一般目標：

鶏の細菌感染症の病原体、症状、診断法、予防に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) マイコプラズマ感染症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 2) 伝染性コリーザの病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 3) 家禽コレラの病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 4) 大腸菌症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。

- 5) ひな白痢の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 6) 家禽チフスの病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 7) サルモネラ症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 8) ブドウ球菌症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 9) 壊死性腸炎の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 10) ボツリヌス症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 11) キャンピロバクター感染症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 12) 真菌症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。

(4) 鶏の原虫感染症とその予防

一般目標：

鶏の原虫感染症の病原体、症状、診断法、予防に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) コクシジウム症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 2) ロイコチトゾーン症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 3) ヒストモナス症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。
- 4) クリプトスポリジウム症の病原体、症状、診断法、予防を説明できる。

(5) 家禽の寄生虫感染症とその予防

一般目標：

家禽の寄生虫感染症の病原体、症状、診断法、予防に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) 外部寄生虫（ヌカカ、ハジラミ、ワクモ、トリサシダニ）を列挙し、その症状、診断法、予防を説明できる。
- 2) 内部寄生虫（線虫、吸虫、条虫）を列挙し、その症状、診断法、予防を説明できる。

(6) 鶏の非感染性疾病とその予防

一般目標：

鶏の非感染性疾病の原因、症状、診断法、予防に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) 腹水症の症状、原因、診断法、予防を説明できる。
- 2) 骨形成異常の症状、原因、診断法、予防を説明できる。
- 3) 栄養・代謝障害性疾病の症状、原因、診断法、予防を説明できる。
- 4) 中毒の症状、原因、診断法、予防を説明できる。

(7) 鶏以外の家禽（ウズラ、アヒル、ダチョウ、キジ）の疾病

一般目標：

ウズラ、アヒル、ダチョウ、キジの主な疾病に関する知識を修得する。

到達目標：

- 1) ウズラ、アヒル、ダチョウの主な疾病の概要を説明できる。

(8) 家禽疾病の診断法

一般目標：

家禽疾病の診断法に関する基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) 家禽の臨床観察、保定、採血、安楽殺、解剖（剖検）、採材およびその処理の基本について説明できる。